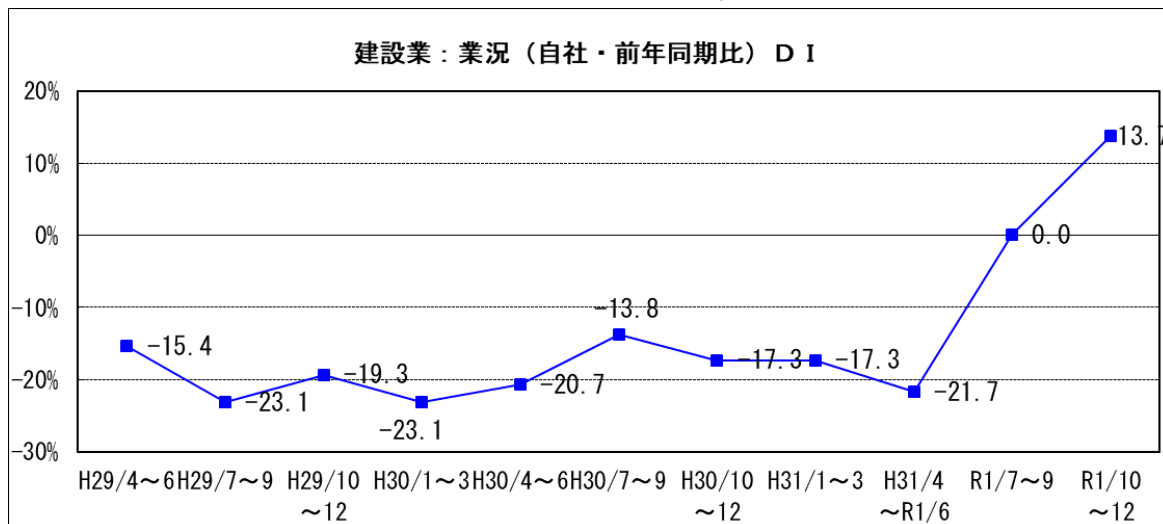


### 3. 建設業の動向

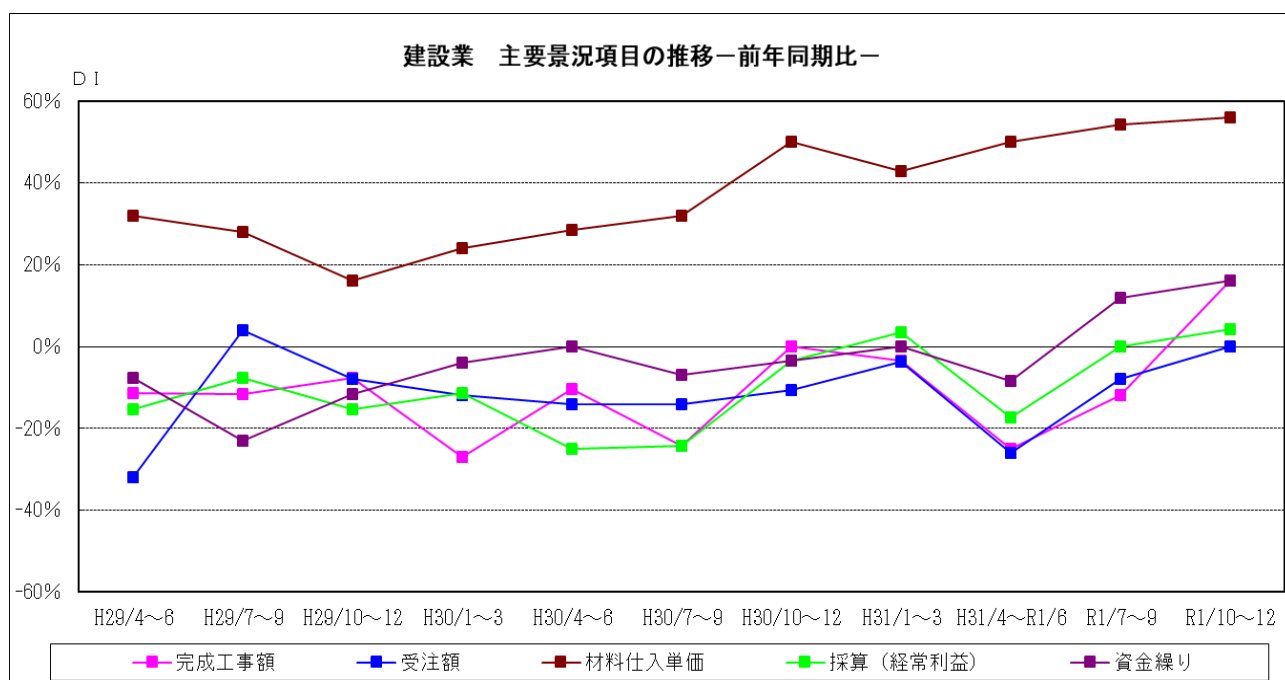
#### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は13.7。前期の0.0から13.7ポイントと大幅に上昇した。来期見通しは、▲4.6と大幅な下降が見込まれる。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

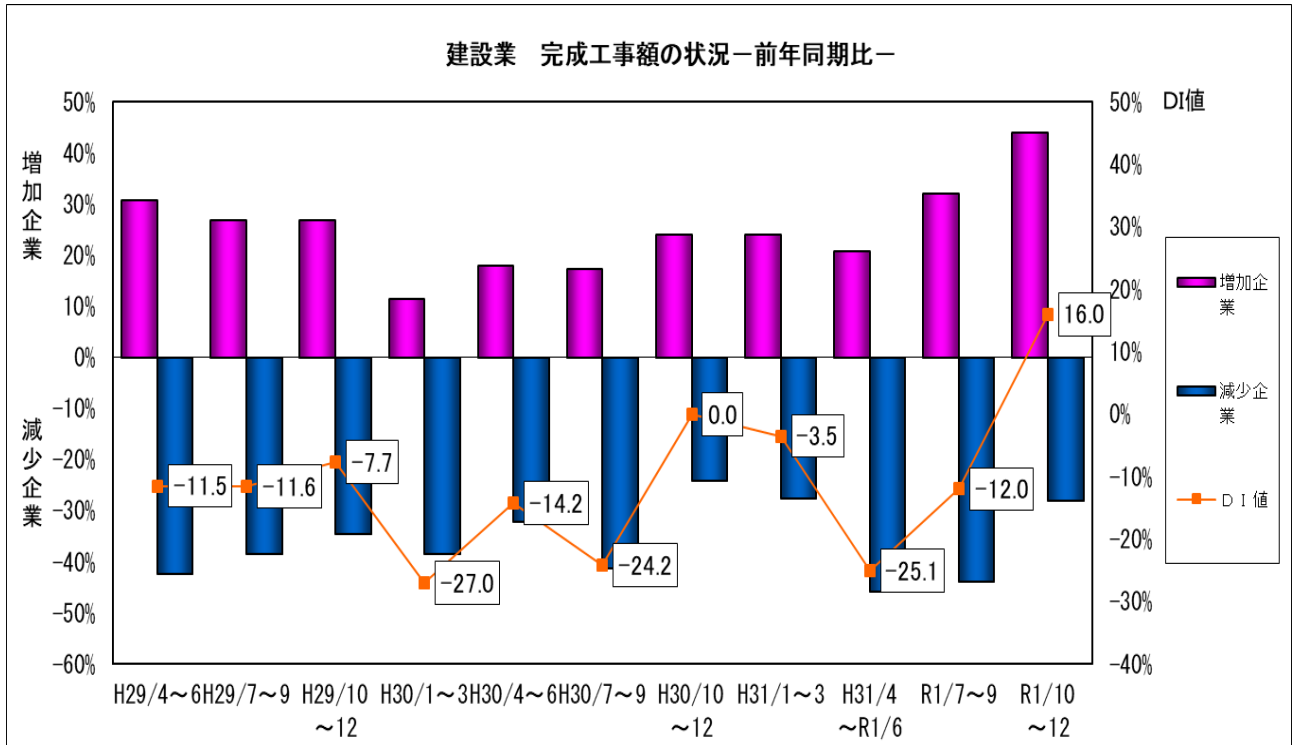
	前々期 (H31年4月 ~R1年6月)	前期(A) (R1年7月 ~9月)	今期(B) (R1年10月 ~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲25.1	▲12.0	16.0	28.0	▲8.0
受注額	▲26.1	▲8.0	0.0	8.0	▲13.1
材料仕入単価	50.0	54.2	56.0	1.8	32.0
採算（経常利益）	▲17.4	0.0	4.3	4.3	▲8.7
資金繰り	▲8.3	12.0	16.0	4.0	0.0



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

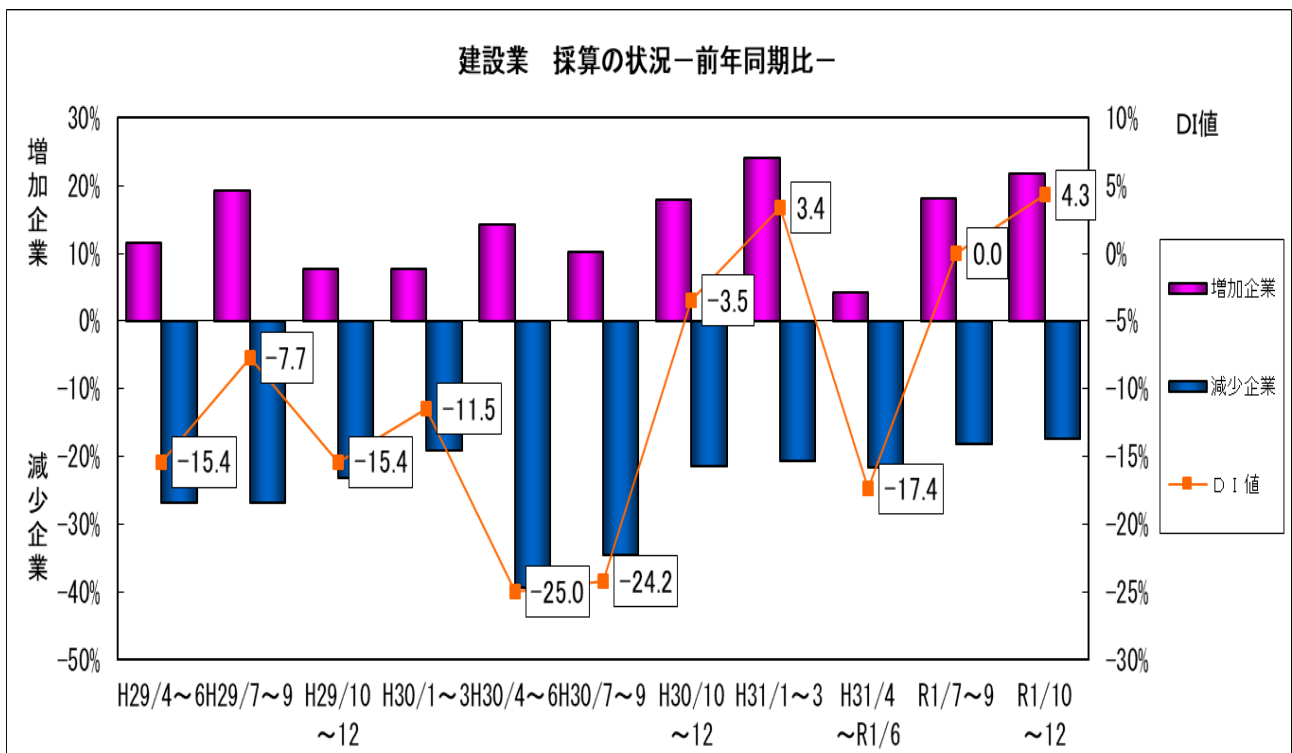
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は16.0。前期の▲12.0から28.0ポイントと大幅に上昇した。来期見通しは▲8.0と下降の見込み。



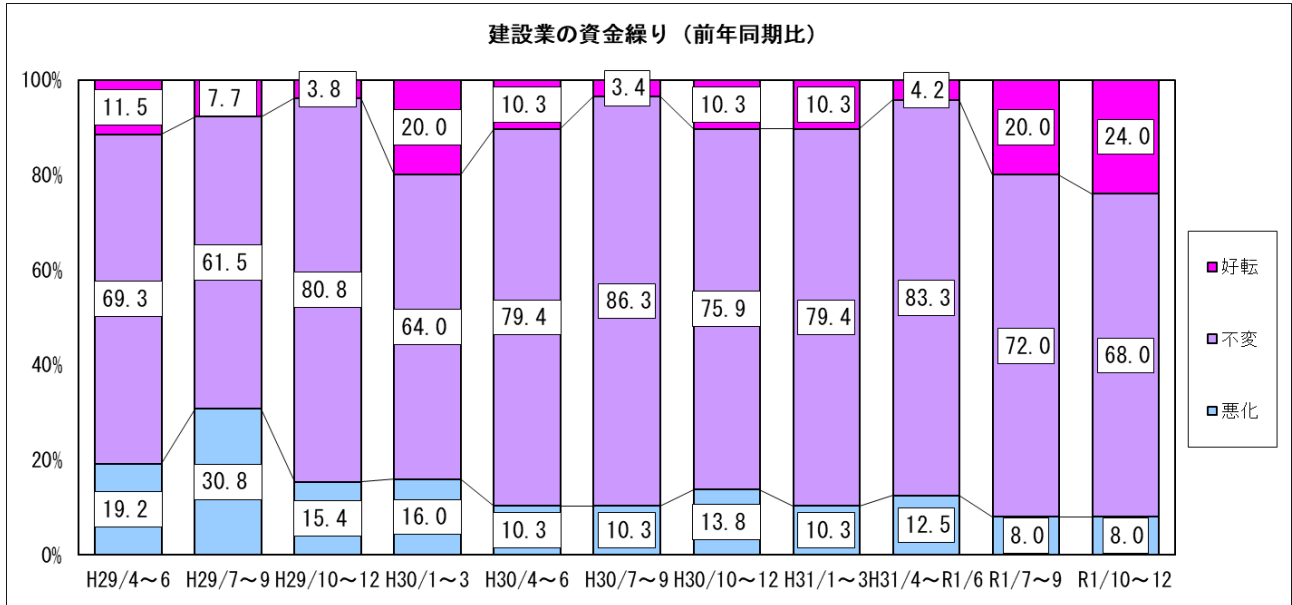
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値4.3。前期の0.0から4.3ポイントの上昇となった。来期見通しは、▲8.7と下降の見込み。



### ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は16.0。前期の12.0か4.0ポイントの上昇となった。  
来期見通しは、0.0と大きく下降する見込み。

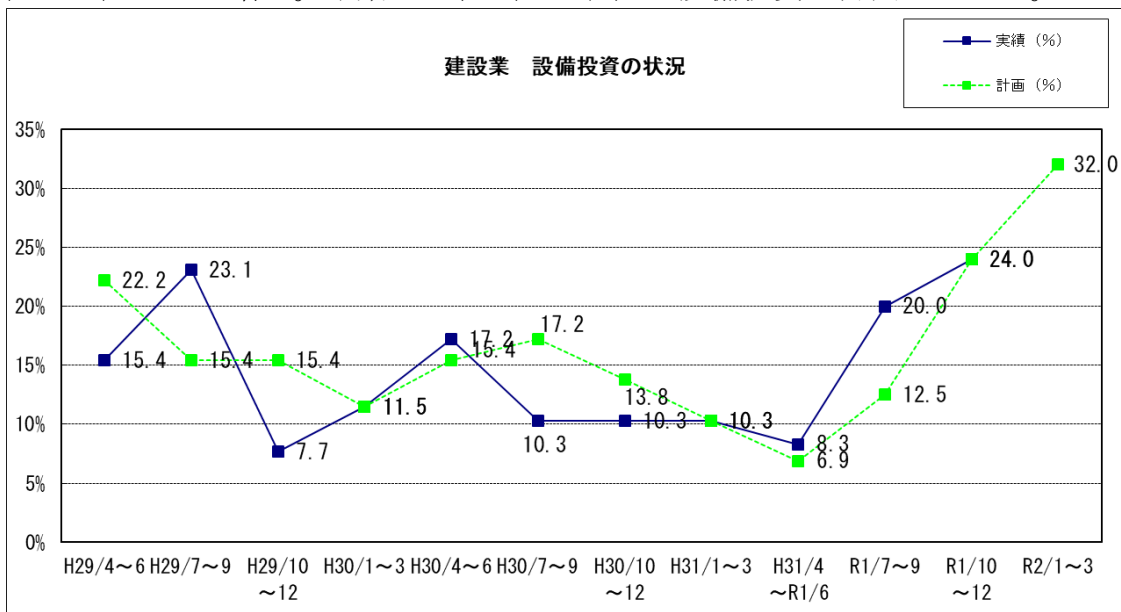


### ④設備投資

#### 新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	5	0	0	1	2	0	1	0	1	20
(%)	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	80.0
今期実施 (実数)	6	0	0	3	3	0	0	0	0	19
(%)	24.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.0
来期計画 (実数)	8	0	2	4	2	0	2	0	0	17
(%)	32.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	68.0

今期設備投資を実施した企業は6社（24.0%）。前期（令和元年7月～9月期）の実施企業5社（20.0%）からは増加。来期は8社（32.0%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「大企業の進出による競争の激化」 (前期 28.6%→今期 38.1%)
- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 28.6%→今期 33.3%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 28.6%→今期 33.3%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 38.1%→今期 42.9%)

となっている。

